



高山 昌雄さん

(馬瀬口)

御代田町体育協会も、今年で創立四十年になります。私はその歴史について少し書かせていただきます。町体協は昭和49年に創立致しましたが、それ以前の社会体育行事は、町公民館教育委員会で計画されてきました。

昭和53年度、長野県での国体開催がきまり、年々盛んになるスポーツ活動にそなえ、御代田町でも体協の設立を望む声も多くなり、昭和48年に当時の桜井茂教育長、中島鉦藏公民館長、体育指導委員、スポーツ関係者の方々と、体協設立計画の準備を進め、7月1日に正式に、御代田町体育協会設立準備委員会が発足しました。

昭和49年4月から、各区で説明会を開き、御代田町民の皆さんに各戸で、正会員になって会費を納めていただき、町の体育行事に参加もし、スポーツの理解と協力をお願いしました。

またそれと平行して体協部会員の募集もし、準備委員会も20数回行いました。

昭和49年7月13日に、御代田町体育協会設立総会の運びになり、11の部で発足し、初代会長に柳澤薫氏が選任され、5期10年お務めいただきました。二代目会長には原田泰氏、三代目会長に柳澤敏一氏が、それぞれ

4期8年づつお務めいただき、町のスポーツ振興、体位向上、町民の親睦にと、大変な努力とご貢献をいただきました。

その後、四代目会長として私が6期12年務めさせていただきました。

昨年度より五代目会長を尾台栄一氏に引き継ぎました。

40年間、体協発展のために、ご指導、ご協力を賜った、各区長さん、分館長さんをはじめ関係各位の皆様々に感謝申し上げますとともに町体協の発展を心よりお祈りしています。



バレーボール大会でのTV解説



好きなものが、いつでも、どこでも、何でも食べられる若者に、食糧の安定供給のことを言ってもピンとこないかも知れませんが、今世紀末に必ずおとずれる深刻な問題を調べてみました。

現時点で農水省発表の、日本の食糧自給率は、カロリーベースで41%、生産額ベースでは71%程度と発表されました。したがって、多くは輸入食品に頼らざるを得ません。御代田町では、昭和50年度138%あった食糧自給率が現在は66%に減少しており、農業生産の減少に歯止めをかけなければなりません。

なお、穀物の生産は、品種改良と灌漑、肥料や農薬の利用で25倍にも増えたが、農地の4割が劣化してしまい、穀物生産をこれ以上増やすことは難しくなつたと言われています。世界の穀物は、年に23億t生産され、人間だけが食べれば100億人が食べてい

ます。

しかし、現在の世界人口は71億人余りであるが、人口推移をみると21世紀半ばまでに90億人を突破し、その後は増加ペースが鈍化するものの、21世紀末までには100億人を突破すると予想されます。

石油の枯渇が近づき、貧富の拡大、温暖化等、問題が山積みなのなか、子孫のため、安全な水と食料を、将来にわたり守つていかなければなりません。さてどうする？

笹沢 武

